



# 石油資源が なくなったとき、 どうやって 生活して いきますか？

その3

大沼 洋康

(国際耕種株式会社 代表取締役)

縄田 浩志

(地球研 准教授)

中西 昭雄

(中西木材株式会社 代表取締役)

石山 俊

(地球研 プロジェクト研究員)



わたしたちの生活はこれまで、再生不可能な石油資源に大きく依存してきました。未来の世代のために、石油に頼らない「生活像」、「人間文化像」をつくりあげていくことは、私たちの世代にとっての最重要課題のひとつであることは間違いありません。これまでの市民セミナー（第32回、第40回）では、中東、アフリカ、日本の農村からの研究事例から、「脱石油時代」のためのヒントを模索してきました。今回は、中東と日本を舞台にして活躍する実践者の方々を講師として、持続可能な社会をつくりあげていく取り組みについて考えていきます。

## 9月9日 (金)

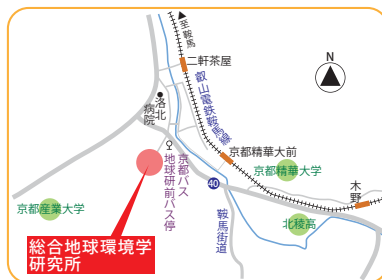
15:00 ~ 16:30 (14:30開場)

場所: 地球研講演室

定員: 100名 (先着順)

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

主催: 総合地球環境学研究所



—交通案内—

<叡山電鉄鞍馬線をご利用の場合>

「京都精華大学前」又は「二軒茶屋」駅から徒歩約10分

<地下鉄とバスをご利用の場合>

地下鉄烏丸線「国際会館」駅から京都バス40系統または50系統に乗り、「地球研前」下車

お申し込み  
お問い合わせ  
メール・お電話・  
FAXにて右記まで  
お申込みください

総合地球環境学研究所 総務課企画室

E-mail [shimin-seminar@chikyu.ac.jp](mailto:shimin-seminar@chikyu.ac.jp)

TEL (075)-707-2173

URL <http://www.chikyu.ac.jp>

FAX (075)-707-2106

聴講無料

## 地球研講演要旨

### 「石油資源がなくなったとき、どうやって生活していきますか？」

#### 産油国の現状

- 沙漠の自然と生活
  - 沙漠の自然
  - ベドウィンの生活
- 急速に進む開発
  - 未曾有の建築ラッシュ
  - 石油資源の浪費とも思える乱開発
- 外国人の雇用で成り立つ国家建設
  - 人口に占める外国人の割合
  - 農漁業省における事例

#### 開発の影響

- 環境への悪影響
  - 水資源の枯渇や水質の悪化
  - 地下水の汲み上げ過ぎによる土壌の塩類化
- 環境重視の政策
  - 節水型農業の導入
  - 植物工場の導入
- 人的資源の開発
  - ローカルスタッフの重用
  - オマナイゼーション

#### 人的資源の開発

- 産油国での技術協力
  - 日本沙漠開発協会の活動
  - UAE 大学静岡大学共同研究プロジェクト
  - マングローブ植林プロジェクト
- 日本国内での研修活動
  - 個別研修
  - 集団研修
- 国際協力の役割
  - 技術協力や研修活動の波及効果
  - 産油国における人造りの重要性
  - 国際協力の役割